

## 中野 寛之 議員



### (二問一答方式)

- ① 防災対策とその検証
- ② 公衆無線LAN (Wi-Fi) 整備
- ③ 英語表記
- ④ 特別支援教育
- ⑤ 食品ロス問題

### 防災対策とその検証について

#### 問

今回の熊本地震では、熊本県内の指定避難所70カ所が被害を受け、閉鎖や一部閉鎖の措置がとられたそうである。そのうち9割は、建物本体の耐震化と比べ対策がおくれがちな天井や照明などの非構造部材の損傷が原因であっ

た。施設別にいうと、学校施設が45カ所でも多かったと報道されている。本市においては、避難施設天井、照明など非構造部材対策についてはどのようにお考えか。

#### 答

避難所の全ての天井や照明の構造物の調査は実施していませんが、学校施設においては、平成25年8月の文部科学省からの通知に基づき、大洲市学校施設整備計画による改築や大規模改造時に合わせて、対策を実施していくこととしています。

なお、改築の計画がない新耐震基準の施設などについては、学校保健安全法に基づく安全点検時などにおいて随時対処していきたいと考えています。

### 公衆無線LAN (Wi-Fi) 整備について

#### 問

JR伊予大洲駅や伊予長浜駅、富士山公園、それから稲荷山公園、白滝公園、フラワーパークなどといった市内の集客施設での公衆無線LANは未整備が目立っている。本市は、人口減少の中、交流人口を拡大している。観光客への利便性向上という観点

からも、公衆無線LANの今後の整備計画についての理事者の見解を伺いたい。

#### 答

JR伊予大洲駅については、今後JR四国の意向もお伺いしながら、JR大洲駅観光拠点整備計画において早急に整備方針を定めて対応していきたいと考えています。また、人の集まる期間が限定をされている公園などについては、現在検討段階であり、今後必要に応じて対応していきたいと考えています。

現在策定中の大洲市総合計画の

多くの観光客も利用する「伊予長浜駅」



中でも、市公共施設などへの公衆無線LAN、Wi-Fiアクセスポイントの整備を推進することをお考えか、今後この方向性に沿って取り組みを進めていきたいと考えています。

### 特別支援教育について

#### 問

特別支援教育について、平成19年4月からは学校教育法に位置づけられ、全ての学校が障がいのある児童等への支援をさらに充実することと定められている。本市においても、支援ファイル「きらめき」の配布を開始したと聞いているが、その利用状況と現状については、どのようになっているのか。

#### 答

現在、約700名の子供の保護者の方が支援ファイル「きらめき」を所有いただいています。

配布後は、保健師や保育士、教員が必要時に保護者へ連絡させていただき、活用状況の把握や活用の仕方をアドバイスし、有効に活用していただけるよう関係機関が連携して取り組んでいるところです。さらに、関係機関とともにファイルの内容の見直しについても随時行っているとあります。